

下痢などを引き起こす寄生虫
ジアルジアは、子犬の約33%が
感染していると
されています。



犬ジアルジア抗原検査をご紹介します。

便中のジアルジア抗原を検出する検査

犬ジアルジア抗原検査

どんな検査ですか？

動物の腸内に寄生して増殖するジアルジアは、便と一緒に排出されるシスト（卵のようなもの）が動物の口に入り感染します。検査は便中のジアルジア抗原を検出するELISA法（酵素免疫測定法）で行います。

どんな虫ですか？

ジアルジアは鞭毛虫類に属する原虫の一つで、犬や猫をはじめ多くのほ乳類に感染する寄生虫です。



シスト
(卵のようなもの)



栄養体

感染率はどうか？

幼若齢の犬で感染率が高く、
子犬では**約33%***、特にペットショップ、
繁殖施設から来た子犬では
約43%*が保有していると
報告されています。

はじめて家に迎えるときは
検査をしてあげましょう。

*「家庭で飼育されているイヌとネコにおける
消化器内寄生虫の調査」動葉研究 2010.6. No.66



ジアルジアは腸内に寄生して
増殖します。



どんな症状ですか？

成犬では特に症状を示さないことが多い一方、
子犬への感染では一般的に以下のような症状を引き起こします。

- 下痢
- 体重減少
- 腹痛

無症状で感染している場合もあります。

はじめて家に迎えるときや、他の犬猫の糞便にふれる機会が
多い場合に検査が推奨されています。